

5. 京都文教大学

テーマ	高校生の自己分析と進路選択に寄り添う新たな入試前プログラム「進路探求プログラム」の意義と課題	
発表代表者	野々口 勇人 京都文教大学 アドミッションオフィス 職員	
連名発表者	中西 勝彦 京都文教大学 総合社会学部 助教 井出 大地 京都文教大学 フィールドリサーチオフィス 係長 澤 達大 京都文教大学 総合社会学部 教授／ともいき基盤教育センター長 黒宮 一太 京都文教大学 総合社会学部 准教授／総合社会学科長	
キーワード	総合型選抜選抜	高大接続
	リフレクション	進路選択
発表の概要	<p>本発表では、京都文教大学で行っている「高大接続入試：進路探求方式」のうち「進路探求プログラム（以下、本プログラム）」の概要を紹介し、その意義と今後の課題を報告する。本入試は、総合型選抜に分類される併願制入試であり、高校時代に特定の活動に注力した高校生を対象としている。</p> <p>本プログラムは入試出願の前段階として実施するプログラムであり、その目的は自身の強みの言語化と自身が大学に進学する意義の明確化である。前者は高校時代に注力した活動を大学生や大学教職員の支援を得ながらリフレクションし、そこで発揮された自身の強みを言語化するワークを行う。後者は大学生との対話を通じて大学での学びの具体的イメージを獲得し、自身が大学に進学する意義を整理する。これらの作業を経て、自身の進路を検討することになる。本プログラム修了後、その成果を他大学の入試に活用することも歓迎している点にユニークさを見出すことができる。</p>	